



THE WOMAN IN WHITE

OLYMPIC THEATRE

ひろしま
カレッジ

受講証

2013年度 ひろしまカレッジ連携講座(於・広島女学院大学)

「センセーション・ノヴェル」とヴィクトリア朝の人々

広島女学院大学では、昨年から交流企画を組み合わせた市民向け講座を開催し、多様化する「学び」の形態と地域社会のニーズに対応した、新たな公開講座のあり方を追求しています。

第2回目の開催となります今年の講座では、英国のヴィクトリア女王治世(1837-1901)、いわゆる「ヴィクトリア朝」に隆盛した小説のジャンルである「センセーション・ノヴェル」について分かりやすく紹介し、小説の登場人物に見られる特徴や、ヴィクトリア朝に生きた人々が理想としたライフスタイルなどについて考えます。講義終業後には、講師を囲んで昼食をいただきながらの「意見交換会」も併せて開催します。

緑豊かで活気にあふれる牛田山キャンパスで、ヴィクトリア朝の息吹に満ちた文学作品を鑑賞してみませんか。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

対象者：社会人

定員：30名

会場：広島女学院大学

日程：2013年6月7日(金)、14日(金) (スケジュールは裏面を参照)

受講料：無料(昼食会希望者は当日に受付で400円をお支払ください)

申込方法：はがき、FAX、Eメールにて、以下を記載のうえお申し込みください。

①氏名(ふりがな)、②郵便番号、住所、③電話番号(携帯番号)、

④「ひろしまカレッジ」への登録の有無 **(※注)**

なお、電話による申し込みはお受け出来ませんのでご了承ください。

申込先：〒732-0063 広島市東区牛田東 4-13-1 広島女学院大学総合研究所

TEL：082-228-0391、FAX：082-227-0323

E-mail：souken@gaines.hju.ac.jp

講座開講決定後、受講者の方に葉書またはEメールで「講座案内」を送ります。「ひろしまカレッジ受講証」をお持ちの方は、開講当日に受付で受講証をご提示ください。

申込締切：2013年5月20日(月) 受付は定員となり次第終了します。

*注「ひろしまカレッジ」への登録について

① ひろしまカレッジの新規受講希望生は、ひろしまカレッジへの受講登録が必要です。

お問い合わせ先：教育ネットワーク中国 ひろしまカレッジ事務局 082-533-7591

※ すでにICひろしまカレッジ受講証をお持ちの場合、登録の必要はありません。

② 個人情報ひろしまカレッジ参加大学で主催・共催・講演する企画のご案内以外には使用いたしません。

③ 詳しくはこちらのホームページをご参照ください：<http://www.enica.jp/hiroshima/index.html>



THE "WOMAN IN WHITE" POSTER.
Woodcut by Frederick Walker, R. A.

□ 開催スケジュール

開催回数・期日 時刻	第1回・6月7日(金)	第2回・6月14日(金)
9:30 ~ 9:55	開場、受付	開場、受付
10:00 ~ 11:30	講義	講義
11:40 ~ 12:30	講師を囲む昼食会(希望者のみ)	講師を囲む昼食会(希望者のみ)

※ 受付会場・講義室は、申し込み後にお届けする「受講案内」にてお知らせします。

□ 講義概要

センセーション・ノヴェルとは、1860年頃イギリスで流行した大衆小説で、日本では煽情小説と訳されることもある小説ジャンルの一つです。「来週は当たるさ、うまくはいかんものだな(『リーダーズ・プラス』より)」という意味の‘*Next week East Lynne*’というフレーズが生まれたり、香水やワルツに至るまでセンセーション・ノヴェルの作品タイトルが用いられたりするほど、ヴィクトリア朝期に隆盛していながらも、文学史で取り上げられることはあまりありませんでした。しかしながら、一時期に流行していたからこそ当時の大衆心理や社会的背景を如実に表しているとも言えるのではないのでしょうか。そこで本講座では、万国博覧会に代表されるように華やかなヴィクトリア朝期における作品を通して、今まであまり表出されることのなかった当時の社会的背景について考えたいと思います。

□ 第1回 テーマ「ヴィクトリア朝の人々」

ジェントルマンや家庭の天使に代表されるようにヴィクトリア朝の理想とされてきた人物像について考えます。そして、それらがどのようにセンセーション・ノヴェルに関係しているのかを考えてみましょう。

□ 第2回 テーマ「センセーション・ノヴェルとは」

センセーション・ノヴェルとは何であるのか。William Wilkie Collins の作品を中心に Mary Elizabeth Braddon や Ellen Wood の作品を取り上げ、それらに含まれるセンセーション・ノヴェルの要素について考えてみます。

□ 担当講師 山内 香澄 (やまのうち かすみ)

〈略歴〉

広島女学院中学・高等学校から広島女学院大学文学部英米語学科、同大学院言語文化研究科英米言語文化専攻に学び、2010年度に博士号(文学)授与。現在は広島女学院大学総合研究所特別専任研究員として研究活動に従事するかたわら、広島工業大学非常勤講師としても勤務。専門は19世紀以降に隆盛した「センセーション・ノヴェル」を始めとする英文学作品の研究。近著に「*The Moonstone*—犯罪と恋愛の *sensationalism*」(『広島女学院大学大学院言語文化論叢』、2011年3月)など。